

平成27年深谷市教育委員会第8回定例会会議録

深谷市教育委員会

平成27年深谷市教育委員会第8回定例会

日 時	平成27年8月7日(金)		
	開 会 午後1時		
	閉 会 午後3時15分		
場 所	教育庁舎 3階 大会議室		
出席委員	教 育 長 教育長職務代理者 委 員 委 員 委 員	小 柳 光 春 柿 沼 敬 一 井 上 美佐子 清 水 巖 橋 本 幾 子	
出席職員	教 育 部 長 次 長 次 長 教育総務課長 教育施設課長 学校教育課長 学校教育課 主幹兼課長補佐 兼指導主事 学 校 教 育 課 課長補佐兼指導主事 学 校 教 育 課 課長補佐兼指導主事 学 校 教 育 課 課長補佐兼指導主事 学 校 教 育 課 課長補佐兼指導主事 生涯学習スポーツ 振 興 課 長 渋沢栄一記念館長 図 書 館 長	澤 出 晃 越 植 竹 敏 夫 片 桐 雅 之 葺 塚 洋 明 吉 田 稔 島 崎 祐 子 田 辺 鉄 章 強 瀬 哲 朗 荻 野 浩 和 松 澤 由美子 染 谷 明 信 岡 田 真 坂 倉 茂 島 田 久 一	
書 記	教 育 総 務 課 課 長 補 佐	加 藤 昇	
欠席職員	文化振興課長	鳥 羽 政 之	

1 開会

教育長が開会を宣告

2 前回議事録の承認

第7回定例会の会議録を全員異議なく承認

3 会議録署名委員の指名

教育長が井上委員を指名

4 会議の概要

(1) 会議

- ① 報告1 深谷市教育委員会後援に関する事務取扱要綱に基づく承認について
教育総務課長より説明
- ② 報告2 主要工事における工事請負契約の締結について
教育施設課長より説明
- ③ 報告3 平成27年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について
学校教育課長より説明
- ④ 報告4 平成27年度第1回深谷市チャレンジ（小学校）の結果について
学校教育課長より説明
- ⑤ 報告5 平成27年度第1回深谷市学校教育振興懇談会について
片桐次長より説明
- ⑥ 報告6 生徒指導上の諸問題に関する調査の結果について
片桐次長より説明
- ⑦ 報告7 平成27年度第1回学校における負担軽減検討委員会について
片桐次長より説明
- ⑧ 報告8 平成27年7月深谷市立小・中学校教員等の発令について【非公開】
学校教育課長より説明
- ⑨ 報告9 深谷アスリートクラブ体験スポーツ教室について
生涯学習スポーツ振興課長より説明
- ⑩ 報告10 平成27年度深谷市いじめ問題専門委員会について【非公開】
片桐次長より説明
- ⑪ 議案第36号 平成27年度全国学力・学習状況調査及び平成27年度
埼玉県学力・学習状況調査の結果等の公表に係るガイドラインの策定
について
学校教育課長より説明
- ⑫ 議案第37号 議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について【非公開】
教育総務課長より説明
- ⑬ 議案第38号 平成28年度使用中学校用教科用図書の採択について【一部非公開】
学校教育課長より説明

発言の要旨

① 報告1 深谷市教育委員会後援に関する事務取扱要綱に基づく承認について
教 育 長 事務局より説明を求めます。

教育総務課長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

② 報告2 主要工事における工事請負契約の締結について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

教育施設課長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

③ 報告3 平成27年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

井 上 委 員 今までは確か少し上回っていたと思いますが、今年は下回ったということですのでけれど、結果分析のところでは少し疑問に思うところがあります。「教科指導の更なる工夫改善の必要性」のなかに、「学級担任制をとっている小学校では、時間ごとに様々な教科を指導するため、教科の特性に応じた指導を十分発揮することができていないと考えられる。また、毎年学級担任やクラス替えが行われ」とあります。私は、このところではないところに問題があると思いますが、いかがなものかというのが1点です。それは、各校の課題が把握されて、それを学校長が捉え、職員に徹底していれば、学年、担任によって教科指導が変わるわけがないと思います。例えば、国語はこんなふう
に追及していきましょう、算数はこんなふう
にノートをとらせていきましょう、ということが共通理解され、そのもとで授業が行われていけば、学級編成が行われようが、担任が替わろうが、このようなことは起きないと思います。ということから見ると、やはり、課題に対する追及の仕方、全教職員の理解が不徹底なのではないかと疑問に思います。

確か去年私質問の中で、授業スタンダードを出していただいたと思いますが、そのなかの授業展開のところでは、基礎基本は確かにきちっと出来ていると思いますが、応用が出来ないというのは、やはり話し方のパターンだけでなく、教師側の質問の出し方や、授業展開として子ども同士がお互いにコミュニケーションを取りながらその課題を追及していく過程が作られて

いるかどうかということで、その辺は非常に違ってくると思います。始めは大変な授業展開になるかと思いますが、どんどん質問していいということが理解されれば、子どもの学力はどんどん深まってくると思いますが、その辺の学校と教育委員会の共通理解の不足というのは、これからどのようにしていきたいと考えていますか。

教 育 長

2つございました。ここの「教科指導の更なる工夫改善の必要性」、まあ小学校のことなのですけれども、こういう実情がでたとすると、どう各学校が課題を捉えているか、その辺の実態ですね、それが1つ。

2つ目が、こういう授業スタンダードを出したとしても、いわゆる応用力とか活用力とか、そうしたことへの取組の状況を踏まえての见解をお願いします。

学校教育課長

委員のおっしゃるとおり、各学校が自分の学校の課題を明確に捉えないと次への一歩がありませんので、各学校に今回の結果を踏まえた課題、そしてこれからどういうふうに具体的に取り組んでいくかという調査を現在計画して、これから行うところです。

それに先立って、主な学校の教頭や主幹教諭から具体的な話の内容を聴き取りましたところ、「すべての担任が指導する国語、算数の指導方法について、もう少し学校全体で統一する意識が必要である」とか、「家庭学習のやり方、ノートの使い方なども学校でマニュアルを作成した方がよかった」というような具体的な反省が出ましたので、それに基づいて、特に小学校ですが、さらに若い教員も増えていきますので、学校全体として課題に応じて各学校でマニュアル作りを進めていこうと考えております。その参考になるものが、そこに示しました「深谷市学びのベーシック（教科編）」というものになります。

二つ目の質問ですが、委員のおっしゃるとおり、ただ基礎基本を教えるだけではなくて、考える過程が大事であり、そのなかで教師が優れた発問をすることで、子ども同士が説明をし合って学びを深めたり、説明することで考えを整理して活用・発展させていくという教育課程が大事だということを担当も考えています。普段の学校訪問でも発問の仕方について特化して指導していますし、今後もそういうことをやっていきたいと思えます。

そのような具体的な優れた指導法を作るために、指導主事や研究所の協力員等の優れた授業実践をしたもののなかからプロジェクトチームを編成しまして、各教科の優れた指導案作りを行いまして、それを各学校に配信していきたいと考えているところでございます。

井上委員 指導方法を統一する意識を高めることをお願いしていくということですが、そうしたなかで、学校としてこうした課題があるのでこうした授業形態に変えていくということも、校長から具体的な指導法を公開する必要はあるかなと思います。

それによって保護者は自分の子どもをどうしていこうとか、学校はこのような形式をとっているけど自分の子どものノートの取り方はどうだろうかとか、家庭で子どもに助言することができるような、そんな形で各校の取組が具体化され、発信されると良いと思います。

学校間の競争ではありませんので、自校の子どもの学力をどうやって上げるかというためのテストだと思いますので、それが効果的にできないと意味がないので、そのような方向でお願いしたいと思います。また、指導方法の統一も図って欲しいと思います。

教育長 それに関してはよろしいですか。他にどうでしょうか。それでは私からですが、このあと全国の学力調査の公表がありますけれど、県については昨年度はなかったのですが、その前の年は小・中共に県をみんな上回って良かったのですが、今回、小学校でこういうことが起きました。やはりそれを真摯に受け止めて、今度の全国と照らし合わせながら、ただし既に課題は分かっていますので、早めにやるということです。これは4月に行った調査ですから、もう8月ですので、少し遅きに失したという気持ちを持ってやらないと駄目だと思います。その点よろしくをお願いします。

④ 報告4 平成27年度第1回深谷市チャレンジ（小学校）の結果について
教育長 事務局より説明を求めます。
学校教育課長 （概要を説明）
教育長 本報告について、質疑はありませんか。
（質疑なし）

⑤ 報告5 平成27年度第1回深谷市学校教育振興懇談会について
教育長 事務局より説明を求めます。
片桐次長 （概要を説明）
教育長 本報告について、質疑はありませんか。
（質疑なし）

⑥ 報告6 生徒指導上の諸問題に関する調査の結果について
教育長 事務局より説明を求めます。

片桐次長 (概要を説明)
教育長 本報告について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

⑦ 報告7 平成27年度第1回学校における負担軽減検討委員会について
教育長 事務局より説明を求めます。

片桐次長 (概要を説明)
教育長 本報告について、質疑はありませんか。

井上委員 私もこの報道を読んだのですが、教材研究とか子どもに関わる仕事については、あまり負担を感じてないのですね。ところが各調査については非常に負担を感じているということです。

学校教育課の調査、人権政策課の調査など、同じような質問事項について次から次へと調査があり、学級担任を通して教務主任がまとめ、教頭がまとめるということをしているのが現状だと思います。

そこで、教育委員会でも学校教育課で取ったデータを他課に流したりして、同じような調査を学校に持っていかないで済むということにはできないのでしょうか。それだけでも違うと思います。

片桐次長 そのとおりだと思います。私ども市の教育委員会としては、他課の調査も含めて、できるだけ同じことを2度調査することがないように、各課長を中心に話し合いながら進めていきたいと思っています。

市としては、国・県から上がってくる調査をできるだけ一本化したいという思いがあります。伝え聞いたところによりますと、県のなかでも同じような意見がありまして、それぞれの課の調査をもう少し精選できないかということで何年か前から負担軽減委員会を立ち上げて話し合いを進めていたということです。ただ、その会議自体が負担になっているという意見があったりして、なかなかまとまらずに今の状況にあるということです。もう少し県の事務所とも話し合いながら出来るだけ調査を一本化できるように私どもも努力していきますので、もう少しお時間がいただければと思います。

井上委員 あともう一点ですが、保護者、地域からの苦情対応です。子どもが帰ったあとの1時間というのは、担任呼び出しの電話が非常に激しいと聞いています。深谷はそういった対応に人的な協力をしてはいますが、その辺も負担になっていると思います。子どもを帰したあとは、会議とか教材研究の時間を確保してもらいたいので、その辺も課題に上げて欲しいと思います。

あとは、学校の近隣の住民から苦情を聞いたのですが、夜の12時位に学校の電気が消えるそうです。そして朝の4時位に

来るそうです。そのたびに門をガラガラと開けたり閉めたりするので、その音で落ち着いて眠れないそうです。そんな時間まで仕事をするというのもどうなのかなというのがありますので、その点も改善していただければと思います。

教 育 長 2点ですね。まず、苦情対応です。それから教員自身が地域のなかの学校ということを入りながら、非常識な時間に騒がせないということも少し考えてみてはどうかということです。

片 桐 次 長 1点目の苦情対応については、教員のほうからもそのような声が上がっています。今私どもやっているのは、ノウハウやマニュアルがそのとおりにできることは少ないものですから、とにかく抱え込まず、学校全体で協力しながらそのクレームに対応できるものを身に付けていく。これは学校長が中心になると思います。あるいは研究所であるとか、すぐに他の機関に振ることがよいことではありませんが、そういった専門機関の活用についても進めていきたいと思っています。

それから勤務時間については、そういった現状を校長会議のほうでも話をしながら、いわゆる病気にならないようにしていきたいと思っています。

教 育 長 あと1点私のほうから。日付が入っていませんが、これは7月21日でいいのですね。

片 桐 次 長 日付が入っておらず申し訳ございません。7月21日でございます。

⑧ 報告8 平成27年7月深谷市立小・中学校教員等の発令について【非公開】
【非公開案件につき内容は省略】

⑨ 報告9 深谷アスリートクラブ体験スポーツ教室について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

生涯学習スポーツ (概要を説明)

振 興 課 長

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

⑩ 報告10 平成27年度深谷市いじめ問題専門委員会について【非公開】
【非公開案件につき内容は省略】

- ⑪ 議案第36号 平成27年度全国学力・学習状況調査及び平成27年度埼玉県学力・学習状況調査の結果等の公表に係るガイドラインの策定について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 議案第36号「平成27年度全国学力・学習状況調査及び平成27年度埼玉県学力・学習状況調査の結果等の公表に係るガイドラインの策定について」、平成27年度全国学力・学習状況調査及び平成27年度埼玉県学力・学習状況調査の結果の提供を受けることに伴い、深谷市教育委員会及び深谷市立小・中学校における結果等の公表に係るガイドラインを策定したいので、この案を提出するものであります。

教 育 長 本議案について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

教 育 長 本議案について、討論はありませんか。
(討論なし)

本議案について、採決をいたします。
本議案を原案のとおり決することに賛成のかたは挙手をお願いします。
(全員賛成)
本議案は、原案のとおり可決、確定いたしました。

- ⑫ 議案第37号 議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について【非公開】
【非公開案件につき内容は省略】

- ⑬ 議案第38号 平成28年度使用中学校用教科用図書の採択について【一部非公開】

教 育 長 それでは、議案に入る前に、各委員には、事前に写しをお渡ししております、「教育と自治・埼玉ネットワーク」と「子ども的人権埼玉ネット」から届きました中学校教科書採択に係る文書につきまして、お諮りしたいと思います。ご意見ありませんか。

井 上 委 員 こちらの通知については読ませていただきましたが、今まで何件か届いていた要望等と同様でしたので、他の要望と同じように、書かれている内容を念頭に置きながら、教科書採択の議案に臨むというのはいかがでしょうか。

教 育 長 今、井上委員から、この要望を頭に入れながら採択に臨むということで処理を進めては、とありましたが、よろしいですか。
(全員賛成)

教 育 長 では、そのようにいたします。

議案第38号「平成28年度使用中学校用教科用図書の採択について」、であります。説明、質疑は公開とし、討論、

採決のみ、静ひつな採択環境を確保するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書及び深谷市教育委員会会議規則第11条第1項第5号の規定により、非公開とすることによろしいでしょうか。

(全員賛成)

教 育 長 それでは議案第38号は、説明、質疑を公開で行った後、討論、採決を非公開で行います。

議事を進めます。まず、教科用図書の採択の仕組みについて説明を求めた後、質疑を受けることとします。その後、教科用図書の種目ごとに説明を求め、各種目ごとに質疑を受けることといたします。

全種目について説明及び質疑が終了した後、会議を非公開とし、各種目ごとに討論を行い、その後本議案について採決を行います。

はじめに、義務教育諸学校用教科書の採択の仕組みについて事務局より説明を求めます。

学校教育課長 ご案内のとおり、今年度は平成28年度に使用する中学校使用教科用図書の採択を行う年であります。

資料1をご覧ください。教科用図書の採択については、この「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」に則って行われます。

第17採択地区は、資料1の下から2番目にある第13条第4項の「2以上の市町村をあわせた地域」に当てはまります。

また、同条第5項によって、深谷市と寄居町の教育委員会は、採択地区協議会における協議の結果に基づき、種目ごとに同一の教科用図書を採択しなければならないこととなります。

そのための手順でございますが、資料2をご覧ください。下の点線囲みの中にあります、深谷市と寄居町合同の第17採択地区教科用図書採択地区協議会を4月下旬に立ち上げました。

7月29日、第2回の教科用図書採択地区協議会では、各教科の調査員長から、調査研究した結果について報告を受け、採択地区協議会として協議し、教科用図書の選定を行いました。

資料3は、各種目の調査員が作成した調査資料、資料4は、埼玉県教育委員会から送付された調査資料でございます。

なお、本日の深谷市教育委員会と10日の寄居町教育委員会で、種目ごとにそれぞれ同一の教科用図書が採択されたことを確認し、採択結果を県へ報告する流れとなっております。

以上で教科用図書の採択の仕組みについて説明を終わります。

教 育 長 採択の仕組みについて質疑はありますか。

(質疑なし)

教 育 長 質疑なしと認め、各種目について説明を求めます。

- はじめに、国語の教科用図書について、説明を求めます。
- 学校教育課長 それでは、第17採択地区教科用図書採択地区選定結果一覧表及び資料3「平成28年度使用中学校用教科用図書調査資料」に沿って説明いたします。
- 国語について、調査員長からは、現在使用している発行者である教育出版を薦める報告がありました。
- 教育出版は、言語活動をとおして子どもたちに力を身に付けさせようとしているという観点については、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の言語活動について具体的に示され、取り組める工夫がなされております。
- また、生徒が主体的に学習活動に取り組めるという観点については、教育出版の構成が他者に比べると工夫が見られました。
- さらに、総合的に考えると、関連図書の紹介を載せたり、思考力・判断力・表現力を高める手引きが提示されたりするなどの工夫が見られ、現行の良さも引き継ぐ教育出版がこの地域の子どもたちにとって学びやすいと考えます。
- 学校の調査研究としては、教育出版11票、光村図書2票という結果でした。
- 委員による協議の結果として、教育出版が選定されました。
- 教 育 長 国語の教科用図書について、質疑はありませんか。
- 井 上 委 員 この地域に一番適当として教育出版を選ばれたのですが、古典の作品、歴史に関する資料等についてももう少し詳しく説明してください。
- 教 育 長 それでは、担当の指導主事の方からもう少し詳しく説明をお願いします。
- 田辺指導主事 この17採択地区では、現在教育出版を使用しています。本編と付録の二部構成となっています。本編は、「読むこと、話すこと、聞くこと、書くこと」と「伝統的な言語文化」を交互に関連させながら、学習を進めることができるようになっています。また、挿絵や写真、レイアウトの工夫、巻末の付録には「言葉のとびら」を設け、補充の教材や言葉への関心興味を持たせる工夫などがされています。
- 伝統的な言語文化に関する事項、古典教材について触れますと、生徒に親しみある教材と豊富な写真及び資料が掲載されています。例えば、現在でも源平の戦いのドラマが楽しまれている平家物語や、高度の教訓を与えています論語では独特の文章の調子を声に出したり、図版や絵、写真などの充実した資料が掲載されているという特徴が教育出版にはあります。
- 教 育 長 熊谷次郎直実は、入っていますか。小学校のほうでしたか。
- 片 桐 次 長 教育出版2年生の古文で、敦盛の最後ということで熊谷次郎直実について触れられています。
- 教 育 長 地域の話題も入っているということによろしいですね。

教 育 長
学校教育課長

次に、書写の教科用図書について、説明を求めます。

書写について、調査員長からは、現在使用している発行者である教育出版を薦める報告がありました。

教育出版は、生徒が主体的に学ぶ、という観点について、巻頭に折り込みの「目的に合わせて書こう」で目的に応じて効果的に書くための筆記用具などが一覧表にまとめられています。また、どの単元にも「学習を生かして書く」というコーナーがあり、国語の教科書の進度と合わせて硬筆のお手本があり、原稿用紙の書き方など、学年の学習事項にあわせて配置されています。

さらに、総合的に考え、生徒が主体的に学習できるような情報や支援の工夫が多く、指導もしやすく、資料や写真が効果的に使っており、興味や関心を引くような内容が多く盛り込まれています。

また、書写の学習の上で、大切なのは、文字の形であり、調査員の調査結果では、生徒にまねさせて、身に付けてほしい字として、毛筆も硬筆も教育出版の字形が整っているという点からも、現行の良さを引き継ぐ教育出版が、この地域の子どもたちにとって学びやすいと考えます。

学校の調査研究としては、教育出版12票、光村図書1票という結果でした。

委員による協議の結果として、教育出版が選定されました。

教 育 長

書写の教科用図書について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

教 育 長
学校教育課長

次に、地理の教科用図書について、説明を求めます。

社会地理的分野について、調査員長からは、以下のような報告がありました。

東京書籍については、全体的にまとまりが良く、資料活用の技能を習得させ、地理的な考え方を育成しやすくなっています。また、「雨温図やグラフ・統計資料等」が他の教科書に比べ見やすく、「身近な地域の調査」の部分の記述内容が、充実しています。

また、帝国書院については、「地図や資料の鮮やかさ・読みやすさ」が充実し、加えてグラフが豊富で、資料を活用した授業が実践しやすくなっています。特に、地理の教科書は、写真や資料の充実が大きなポイントとなることから、帝国書院も良いのではないかという報告がありました。

このように現在使用している東京書籍について一定の評価を得る報告があった一方で帝国書院が良くまとまっているという報告があり、調査員からは、帝国書院を押す声がありました。

学校の調査研究としては、東京書籍 9 票、帝国書院 4 票という結果でした。

また、教科書展示会アンケートでは、「『東京書籍』は写真、資料が豊富で見やすく分かりやすい。」という記述がありました。

委員の協議では、特に現在使用している発行者の東京書籍が、子どもたちにとってなじみやすく、学びやすく、ふさわしいということで意見は一致し、東京書籍が選定されました。

教 育 長
井 上 委 員

地理の教科用図書について、質疑はありませんか。

もう 1 つ教えて欲しいのですが、東京書籍が他社と比べてより優れていると感じた点。それから指導上の効果的なものについてこの辺が優れているという点。帝国書院よりも東京書籍を選んだ理由。この 3 点について教えてください。

教 育 長

より優れているというのはどんな点か。それから 2 点目、指導上の効果という観点からはどうなのか。帝国書院と比較しての点からの 3 点をお願いします。

荻野指導主事

まず 1 点目の学習をするにあたって優れているという点ですが、いずれも 1 時間の授業の構成は、始めに学習課題を提示し、資料を基に考えさせ、最後にまとめる学習が徹底されています。東京書籍におきましては、学習課題の的確さ、それを学習するにあたっての考えさせる資料の提示、さらにその学習に基づいたまとめの学習の内容が優れているということです。

2 点目ですが、1 時間の構成のなかの資料の内容ですが、やはり現在の思考・判断・表現を重視する学習においては、東京書籍の資料が優れていると感じ、さらに言語能力を高めるために、まとめのところで記述させる内容が的確だということです。

最後に、帝国書院との比較ですが、帝国書院におきましても同じような構成をとっていますので、調査員も指摘した同じような良さがあるということであります。特に帝国書院の地図の鮮明さという点では、帝国書院の資料は優れていると思いますが、地図だけではなく、グラフや写真、表等を総合しますと、東京書籍が優れているということです。

教 育 長

小中一貫という観点から、小学校の教科書との絡みで東京書籍が今使われているわけですが、その点はどうでしょうか。

荻野指導主事

東京書籍の各章ごとの先頭ページに、小学校では、こういうような学習をしましたね、という先生の吹出しで、この単元に関わる小学校の時の学習した内容が写真やコメントで指示されています。それが各章ごとに掲載されています。

教 育 長

要するに小学校の既習事項をきちんと押さえて、中学校の学習に入る。その接続がしっかりなせている、ということによってよいですね。

荻野指導主事 そうです。

教 育 長 次に、歴史の教科用図書について、説明を求めます。

学校教育課長 社会歴史的分野について、調査員長からは、現在使用している発行者である東京書籍を薦める報告がありました。

東京書籍は、生徒が自分一人で復習する、予習するというときに、学びやすいという特色があり、現在学習している部分が年表の中で何時代のどこなのかをページ下部に明示されています。また、各章の導入やまとめが、見開きの年表で示されて大変見やすく、地理・歴史・公民の関連を重視し、「環境・エネルギー」「防災・安全」「伝統文化・宗教」「人権・平和」の4つのテーマでそれぞれの分野の視点から考察させています。また、各章ごとで、様々なまとめ方、例えば、ウェビング図、比較表、ディスカッション、歴史新聞、年表、プレゼンテーション等を具体的に提示しています。

他の発行者について、主体的に学習へ取り組む工夫という観点においては、帝国書院については、「歴史の学び方・まとめ・発表の仕方」のページでは、身近な地域の歴史を調べるために必要な見方や考え方を身に付けることができるように工夫されております。

教育出版については、「郷土の歴史を探ろう」のページで、4つの具体的なテーマを示し、地域の歴史を調べるために必要な見方や考え方を身に付けることができるよう工夫されております。

育鵬社については、「地域学習に出かけてみよう！」のページでは、身近な地域の歴史を調べるために必要な見方や考え方を身に付けることができるよう工夫されております。

以上各発行者とも様々な工夫が見られますが、現行のよさを引き継ぐ東京書籍がこの地域の子どもたちにとって学びやすいとする調査員長からの報告がありました。

学校の調査研究としては、東京書籍10票、帝国書院3票という結果でした。

また、教科書展示会アンケートには、「特定の発行者についての採択可否についてや、歴史的事実や正しい歴史認識に基づいて教科書の採択をしてほしい」などの記述がありました。

委員の協議では、東京書籍は、記述内容が分かりやすく、子どもに馴染みがあるということ、教師が指導する上で効果的なことから、東京書籍が選定されました。

教 育 長 歴史の教科用図書について、質疑はありませんか。

井 上 委 員 歴史については非常に色々な問題がありますし、昨日は広島
の70周年で様々な報道がなされていたと思います。そうした時に、正しい歴史を認識し、次の時代の人を作るわけですから、

そのために東京書籍が優れていた、指導しやすかったという点がありましたら教えてください。

教 育 長 まさに歴史をどう見据えて指導していくかという、歴史認識についての見解を問うということですが、どうでしょうか。

荻野指導主事 ただいまのご質問でございますが、歴史認識におきましては、どの教科書においても正しい歴史認識をとっているかと思いますが、個別の事象ごとの記述については多少の違いがあると思います。ただ、東京書籍は、学習しやすく使いやすいという点で優れているという報告がありました。

学校教育課長 歴史学習をする上で大切なことは、学習指導要領の内容に基づいて歴史を大きく掴むということが大切であると調査員長は申しておりました。これからの日本人を育てるために、やはり日本の歴史を知っておかなければならないということで、東京書籍の場合は、我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫として歴史の流れというページが作ってありまして、小学校の学習を活かしながら歴史の流れを掴む学習を行うように意図的に研究されています。また章の冒頭に流れを掴むページ、さらに章末に章をまとめて「この時代の特色をとらえよう」という時代を大観する学習を意図的・計画的に行っているという報告がなされました。

井 上 委 員 もう一点よろしいですか。領土問題の関係もあると思いますが、領土問題の認識を正しく指導するために、7社の記述を比べてみての感想がありましたらお願いします。

教 育 長 領土問題についての記述に関わっての見解ということですが、領土問題におきましては、各社ともに、地図を用いて説明したり、資料・写真を用いて説明したり、コラムで説明したりしています。東京書籍におきましては、歴史的背景を示しながら、写真・地図を用いて2ページにわたって、本文とは別のところで記載し、子ども達の認識を高めるような方法をとっているということです。

教 育 長 東京書籍は、本文のほかにさらに見開きで、領土問題をしっかり記述しているということですね。

それから、一点先程の確認ですが、小学校は四十数人の人物を挙げて歴史学習をしている。中学校は歴史を通観・大観するという学びとなっていて、小中との関連をきちんと踏まえているという点では、両方で上手くできているということですか。

荻野指導主事 先程にもありましたが、小学校の学習内容を章の始めで振り返り学習をして、その後、その章に入っていきますので、東京書籍がそういう関連性を強く捉えているということですが。

教 育 長 そうすると小学校の時の四十数人の人物をきちんと紹介しながら中学校の歴史を大観する学習に結び付けているということですね。

荻野指導主事 はい、そのとおりです。

教 育 長 次に、公民の教科用図書について、説明を求めます。

学校教育課長 社会公民的分野について、調査員長からは、現在使用している発行者である東京書籍を薦める報告がありました。

東京書籍は、第1に、章のはじめと終わりに現実の社会にある事象から、その単元を貫く課題を導く「作業学習」を提示して課題提起し、最後にその課題解決や発展的な学習で終わるといったパターンで、学んだことが具体的な社会事象につながりやすくなっています。また、作業学習が数多く設定されています。例えば、「公民にチャレンジ」が20項目、「調査の達人」が3項目、内容を深める「公民にアクセス」が50項目と充実しています。また、3分野の関連を意識した構成となっており、「分野関連マーク」を付記して、地理や歴史で学んだことを想起しながら学習するようになっています。

調査員長からは、現在使用している教科書の発行者である東京書籍を進める報告がありました。

学校の調査研究としては、東京書籍12票、帝国書院1票という結果でした。

また、教科書展示会アンケートでは、「特定の発行者に関して採択しないでほしい」などの記述がありました。

委員の協議の結果、東京書籍は、記述が分かりやすく子どもにとっての使い勝手がよいということから、東京書籍が選定されました。

教 育 長 公民の教科用図書について、質疑はありませんか。

荻野指導主事 先程の説明にもありましたように、東京書籍の公民の教科書におきましては、思考力・判断力・表現力という点で、いくつかの具体的なシミュレーション等を取り入れて学習することで、思考力・判断力・表現力を高めるような配慮があり、子どもにとって学びやすいものとなっているということです。

教 育 長 次に、地図の教科用図書について、説明を求めます。

学校教育課長 地図について、調査員長からは、現在使用している発行者である帝国書院を薦める報告がありました。

教科書では、ページの構成上、地図や地域の特色まで掲載することが難しいため、地図帳が必要になります。生徒の目に入ってくる印象の強さ、その資料から何が読み取れるのか、地図から探してみようといったときに影響力の強さを考慮して考えますと、帝国書院は、地図としての迫力、見やすさが大変優れています。同じ地域を他社と見比べてみますと、迫力の違いが分かります。

地図の一番の使命は、地図の見やすさです。帝国書院の教科書においては、大変見やすいうえに、世界各州の鳥瞰図、イラスト、地形の色分けをしていて、東京書籍と比べ立体的で見やすく、生徒の興味・関心を喚起しやすい作りになっています。さらに、地図、資料図、統計資料、授業を意識した資料の豊富さで上回っています。

学校の調査研究としては、帝国書院12票、東京書籍1票という結果でした。

また、教科書展示会アンケートには、「特定の発行者に関して採択しないでほしい」などの記述がありました。

委員の協議の結果、帝国書院が選定されました。

教 育 長 地図の教科用図書について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

教 育 長 次に、数学の教科用図書について、説明を求めます。

学校教育課長 数学について、調査員長からは、現在使用している発行者である啓林館を薦める報告がありました。

啓林館の教科書は、例題ごとの展開が細かいステップで配列され、数学的な思考を広げる視点が明確な作りとなっています。今回、調査研究した結果からも、次の3点でその良さが引き継がれています。

1点目は、どの学年も系統性を大切に、本文が段階を追って丁寧に記されているところです。

2点目は、本文中の重要な「数学的な見方・考え方」を分かりやすい言葉で側注に示し、1年時から繰り返し意識させるように掲載しているところです。また、思考力や判断力を育てる見方や考え方の視点を明確に示しているところです。

3点目は、別冊「MathNaviブック」を作成し主体的に数学の学習に取り組んだり、より深く学んだりするための課題を特集し、課題をまとめ、数学的な思考力や表現力を高めるためのレポートの書き方についても丁寧に説明しているところです。

学校の調査研究としては、啓林館11票、東京書籍2票という結果でした。

委員による協議では、啓林館の学習の進め方について協議がなされましたが、中高の連携等を考慮して、総合的に判断し、啓林館が選定されました。

教 育 長 数学の教科用図書について、質疑はありませんか。

井 上 委 員 数学は多分7社でていると思いますが、その7社もそれぞれの優位点があったと思います。しかし、啓林館にしたというのは、今までどんな効果があったからですか。

教 育 長 7社のうちから啓林館を選んだのは、どのような点が良かったという判断がなされたのでしょうか。

染谷指導主事 啓林館が選ばれたことに関して、重要な点が2点あるとの報告がありました。

1点目は、算数・数学における系統性の重要視です。基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るため、啓林館の教科書では系統性を踏まえ既習事項を基に、新しい学習内容にスムーズに展開できるような構成が工夫されています。

2つ目は、既習事項の活用という点です。既習事項の活用に関しましても、身近な事象や題材に即した操作活動を基に主体的・発展的な学習の場面が計画的・意図的に設けられていて、生徒の数学的な思考力・表現力を高めるような工夫が、啓林館は十分されております。

教 育 長 啓林館の良い点は、その2点ということでもいいですか。

井 上 委 員 もう一ついいですか。そうした場合に、今求められている考え方の育成にあたったときに、考えて教えていく方向に持っていかなければならないと思いますが、それに適している教科書と判断したのでしょうか。

教 育 長 要するに、子ども達にしっかり考えさせるということを踏まえて指導していくために、啓林館は十分かどうかということですが。

染谷指導主事 子ども達の思考力・判断力という部分で、数学的な思考力・表現力を高めるために、特設に千思万考というコーナーが設けられています。さらには、自分の言葉で伝えるというコーナー、または、考え方やその理由を伝え合うという活動が、意図的・計画的に設置されています。そういうものを計画的に進めるなかで、子ども達の思考力・判断力・表現力の育成にあたるということなのです。

教 育 長 次に、理科の教科用図書について、説明を求めます。

学校教育課長 理科について、調査員長からは、現在使用している発行者である東京書籍を薦める報告がありました。

東京書籍は、ある単元では、まず、自分たちで課題を解決するために、どういう実験をしなければいけないか実験計画をつくるところからスタートしています。そして実験結果の違いについて、それぞれの班の進め方の違いを検討するなど、工夫されています。いわゆる今、国が求めている検討改善という、活用する力の一つです。日本の子供たちに足りない部分として実験を計画するということや、結果が間違えたら、失敗ではなくて検討して改善するという力を身に付ける象徴的な部分だと思えます。この単元だけを比較しても、東京書籍は、探究の過程について、かなり深い部分があるのではないかと思います。

学校の調査研究としては、東京書籍12票、教育出版1票という結果でした。

委員の協議の結果、東京書籍が選定されました。
教 育 長 理科の教科用図書について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

次に、音楽一般の教科用図書について、説明を求めます。
教 育 長 音楽一般について、調査員長からは、現在使用している発行者
学校教育課長 である教育芸術社を薦める報告がありました。

教育芸術社の優れている点としては、1点目は、基礎的・基本的な知識・技能の習得についてですが、「確認しよう」というコーナーを各学年に設け、ビンゴゲームやリズムゲームをとおして、音符、休符、記号について、反復学習できるような構成になっております。

2点目は、思考力・判断力・表現力を総合的に駆使する創作の活動について、手順が丁寧に示され、その手順を追っていけば創作活動ができるようになっていくところではあります。

3点目は、我が国の音楽のなかで、伝統的な歌唱について理解を深めるため、節回し等が目で見えてわかるように絵譜が掲載されていて、範唱を聞きながら試しに歌ってみることで伝統的な歌唱を身近に体験できるように工夫されています。

学校の調査研究としては、教育芸術社12票、教育出版1票という結果でした。

委員の協議の結果、教育芸術社が選定されました。
教 育 長 音楽一般の教科用図書について、質疑はありませんか。

井上委員 2社とも鑑賞教材は同じかと思いますが、選定されている曲などから見て、感性を豊かにするという点から、2社の違い、より芸術的なものが優れていたというのはどの点でしょうか。

教 育 長 感性を豊かにする作品についてはどうでしょうか。

松澤指導主事 歌唱につきましては大きな違いは無く載っているかと思いますが、その他の点で、例えば創作活動その他のところで感性を育てるような工夫が教育芸術社の方が優れているということです。

次に、音楽器楽の教科用図書について、説明を求めます。
教 育 長 音楽器楽について、調査員長からは、現在使用している発行者
学校教育課長 である教育芸術社を薦める報告がありました。

教育芸術社の優れている点としては、1点目は、主体的に学習に取り組む工夫についてですが、教科書31ページにお示した「My Melody」という曲では、糸の名称を枠内に書き込みながら「さくらさくら」の前奏部分を無理なく創作できるような工夫されています。「さくらさくら」も、小学校で体験的に和楽器を学習する際、扱われる機会が多い曲で、生徒もメロティ

一を覚えていて、親しみやすく、創作する上でイメージを持ちやすい教材です。

2点目は、教科書26ページにあるように、指導内容の明確化が図られ、和楽器の習得では、奏法だけでなく、姿勢・礼儀・背景に付随する文化にまで触れて、我が国の伝統的な文化を総合的に理解できるように配慮されています。

3点目は、たくさんの打楽器を取り上げており、楽器の構え方や奏法について写真等を使って解説されていて、自主的に学習を進めることができます。また、それぞれの打楽器についてリズムの定型が載せられていて、曲に打楽器のリズム伴奏を付けて演奏を工夫するなど、発展的な学習に繋げる配慮がなされています。

学校の調査研究としては、教育芸術社13票という結果でした。

委員の協議の結果、教育芸術社が選定されました。

教 育 長 音楽器楽の教科用図書について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

教 育 長 次に、美術の教科用図書について、説明を求めます。

学校教育課長 美術について、調査員長からは、現在使用している発行者である開隆堂を薦める報告がありました。

現在、開隆堂の教科書を使用していますが、2冊構成で、扱える題材の幅が広く、生徒も教師も大変使いやすい教科書です。題材ごとに学習のねらいと振り返りが示しており、生徒が主体的に取り組める工夫が随所にあります。鑑賞のページでは、鑑賞のきっかけとなる「問いかけ」により、生徒の興味・関心が高まり鑑賞学習を充実させることができます。以上のような理由から、開隆堂の教科書は、生徒も使いやすく、目標の実現が期待できる優れた教科書だと考えます。

学校の調査研究としては、開隆堂7票、日本文教出版5票、光村図書1票という結果でした。

委員の協議の結果、開隆堂が選定されました。

教 育 長 美術の教科用図書について、質疑はありませんか。

井上委員 日本文教出版も凄く良いと思いましたが、開隆堂との差は何でしょうか。今まで使い勝手が良かったというだけの理由ではないと思いますので。

教 育 長 日本文教出版と今使っている開隆堂では、どんな差が感じとれましたか。

強瀬指導主事 どちらの教科書も非常に工夫をされていましたが、開隆堂の方が、より学習の狙いと単元の振り返りのところが良く、子どもにとってより主体的な学習ができるということです。

教 育 長
学校教育課長

次に、保健体育の教科用図書について、説明を求めます。

保健体育について説明申し上げます。東京書籍は、学習の関心・意欲を高め、子供たちが主体的に取り組めるような工夫があり、なおかつ資料がたくさん掲載されているため、求められている思考力・判断力を高められる構成になっており、学習指導要領の目標や内容が取り扱いやすい教科書となっています。

また、大修館書店は、紙面の見やすさや、中学生にわかりやすい疑問を投げかけ、学習内容のイメージが掴みやすいように工夫されるつくりになっております。URL の表記も分かりやすく、コンピュータを活用しての主体的な調べ学習にも活用しやすいなどの工夫について、評価する委員の報告がありました。

調査員長からは、現在使用している発行者である、東京書籍について一定の評価をする報告がありました。また、大修館書店について高い評価を示しておりました。

学校の調査研究としては、東京書籍 11 票、大日本図書 1 票、学研 1 票という結果でした。

委員の協議では、東京書籍と大修館書店について話し合い、東京書籍の教科書が、資料が大変豊富に掲載されており、資料を活用し、書き込みながら思考力・判断力・実践力を高められるような学習につなげられるという良さがあり、総合的に判断して、東京書籍が選定されました。

教 育 長
柿 沼 委 員

保健体育の教科用図書について、質疑はありませんか。

今の説明でいきますと大修館書店を押ししているように聞こえたのですが、そちらではなく東京書籍を選んだ理由は何でしょうか。

学校教育課長

専門員長は、東京書籍も大修館書店もどちらも優れているという報告をしていました。どちらかという点で、大修館書店のほうが字が大きく見やすいという点で、大修館書店の方がより良いという報告であったと思います。ただ、採択協議会のなかでは、教材数、グラフや表ですが、子ども達が様々なグラフや表などの教材を基にして科学的に思考・判断していくのが保健体育の学習ですので、グラフや表などの資料が豊富で、教科書に書き込めて色々なことを説明しながら学習していけるのは東京書籍ではないかということで、そのような選定になったと思います。

教 育 長
学校教育課長

次に、技術の教科用図書について、説明を求めます。

技術については、調査員長からは、現在使用している発行者である開隆堂を薦める報告がありました。

現在使用している発行者である開隆堂出版の教科書は、学習指導要領に基づき技術・家庭科の目標等をしっかり考えて作られています。内容的にも子どもとして身に付けるべき内容が系統立てて記載されていて、例えば情報モラルについての掲載がイ

ラスト等で分かりやすく掲載されるなど、図やイラスト、そして、資料等も豊富です。

教育図書の技術分野では、215ページに「安全に利用するための使い方」をはじめ、それ以降のページで情報モラルに関して記載されています。また、子どもの立場から考えられる疑問や質問などを考慮し、説明する箇所では、難しい言葉ではなく、平易な言葉を入れて、馴染みやすい教科書となっています。

学校の調査研究としては、開隆堂12票、教育図書1票という結果でした。

委員の協議の結果、開隆堂が選定されました。

教 育 長 書写の教科用図書について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

教 育 長 次に、家庭の教科用図書について、説明を求めます。

学校教育課長 家庭について、調査員長からは、現在使用している発行者である開隆堂を薦める報告がありました。

先程も申し上げましたが、学習指導要領に基づき技術・家庭科の目標等を考えて作られています。内容的にも子どもとして身につけるべき内容が系統立てて記載されていて、図やイラスト、そして、資料等も豊富です。家庭分野では、104ページから調理実習事例が掲載されていますが、カラー写真で作業工程から完成品まで分かりやすく掲載されています。資料数も多く、生徒が進んで作りたいと思うような内容です。

学校の調査研究としては、開隆堂12票、東京書籍1票という結果でした。

委員の協議の結果、開隆堂が選定されました。

教 育 長 家庭の教科用図書について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

教 育 長 次に、英語の教科用図書について、説明を求めます。

学校教育課長 英語について、調査員長からは、現在使用している発行者である開隆堂を薦める報告がありました。

主体的に学習に取り組む工夫という観点においては、開隆堂には、まず、「協働」というコーナーが設けられています。2年生の教科書の75ページには、友達と意見交換をしたり、協力したりして、原稿の内容や発表をより良いものにしていく工夫があります。

開隆堂は、導入、展開、まとめとよく整理され、子どもに身に付けるべきことを確実に身に付けられるように編集されています。子どもたちにとっても、学習に取りかかりやすく、なじみやすいものとなっているため、開隆堂が、生徒にとっても指導する側にとってもよい教科書であると考えます。

学校の調査研究としては、開隆堂 8 票、学校図書 4 票、光村図書 1 票という結果でした。

委員の協議の結果、開隆堂が選定されました。

教 育 長
井 上 委 員

英語の教科用図書について、質疑はありませんか。

英語の教科書も色々工夫されていて、違う方向性もあると思いますが、開隆堂を今まで使ってきて、また開隆堂を採択するにあたり、より良い効果はどの辺にあるのでしょうか。

教 育 長

現在、開隆堂を使っていて、また開隆堂を使うということで、どこを見越して選択したのでしょうか。

松澤指導主事

開隆堂ですが、他の教科書も大変工夫されています。そこで開隆堂の良い点として、先程の説明にありましたが、各学年に「協働」というコーナーが出来ていて、共に考え、互いに伸びるという学習が出来るというのが 1 点です。もう 1 点ですが、Program が 3 つ終わると My Project ということで、読む・聞く・話す・書くが総合的に学習できるコーナーが設けられています。そういうところを経験していくなかで、子ども達が 4 技能をバランスよく育てられるという部分がありまして開隆堂を選んだということになります。

教 育 長

これにて、すべての種目について、説明及び質疑が終了しました。

【討論及び採決は非公開につき内容は省略】

教育長

本日の議事はすべて終了いたしました。

次回第 9 回定例会は、9 月 8 日（火）午後 1 時 3 0 分開会です。

以上で、平成 2 7 年深谷市教育委員会第 8 回定例会を閉会します。